

入院を予定されている患者・ご家族の方へ（ワクチン接種のお願い）

日本においては、毎年多くの子どもたちがワクチンで予防できるはずの病気にかかり、入院して治療をすることになったり、重い後遺症で苦しんだりしています。国内における定期接種（公費負担）のワクチンは限られています。任意接種のワクチンで防げる病気もあります。

これから入院されるお子様が病棟内ではしか（麻疹）・水ぼうそう・風疹・おたふくかぜ等の感染症を発症してしまうと、お子様だけでなく病棟に入院中の多くの患者さんの治療が長期間にわたり中断し、新たな患者さんの入院が制限され、また、免疫力の弱い患者さんの生命が危険にさらされることとなります。

当院では、ワクチンによって防げる病気を積極的に防ぐために、予防接種を強く推奨しています（表）。

特に1歳以上のお子様は入院1ヶ月前までに、特に感染力が強く感染管理上重要であるという理由で、水ぼうそう（水痘）ワクチンを2回接種することを強くお願いしています。

（2回目のワクチン接種は可能であれば3ヵ月、最低4週間以上空けることが必要です。）

- * 水ぼうそうワクチンは1回の接種でも効果はありますが、時折接種をしても水ぼうそうにかかることがあり、当院では2回の接種をお願いしています。水ぼうそうワクチンを接種していない、あるいは記録が無い場合はかかりつけの医師にご相談ください。なお、病気に罹ったことが確実である場合、医学的な理由でワクチンを受けられない場合、接種は不要です。

表：日本で接種できる主なワクチンとワクチンで防げる病気

ワクチンで防げる病気	ワクチンの種類
水ぼうそう	水ぼうそう（水痘）ワクチン
麻疹（はしか）・風しん	MR（麻疹風しん混合）ワクチン
おたふくかぜ	おたふくかぜ（ムンプス）ワクチン
B型肝炎	B型肝炎ワクチン
ロタウィルス胃腸炎	ロタウィルスワクチン
ジフテリア・百日せき・破傷風 ポリオ	四種混合ワクチン あるいは 三種混合ワクチン+ポリオワクチン
結核	BCG
日本脳炎	日本脳炎ワクチン
インフルエンザ	インフルエンザワクチン
細菌性髄膜炎などの インフルエンザ桿菌感染症	ヒブワクチン
細菌性髄膜炎などの肺炎球菌感染症	小児用肺炎球菌ワクチン
子宮頸がんなどのヒトパピローマウィルス	ヒトパピローマウィルス（HPV）ワクチン